

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	栃木県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	田沼町立多田小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	0	6	10
児童数	17	14	23	17	32	29	0	132	

研究の概要

1. 研究主題

基礎・基本が定着し、自ら学び自ら考える児童の育成 - 国語科や算数科の指導を通して -
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1～6年	算数	(児童の習熟度に差が出やすい教科であるため、また、基礎学力が十分身に付いていない児童がやや多いため)
1～6年	国語	(言葉による理解や表現能力が十分身に付いていない児童が多いため)

(2) 年次ごとの計画

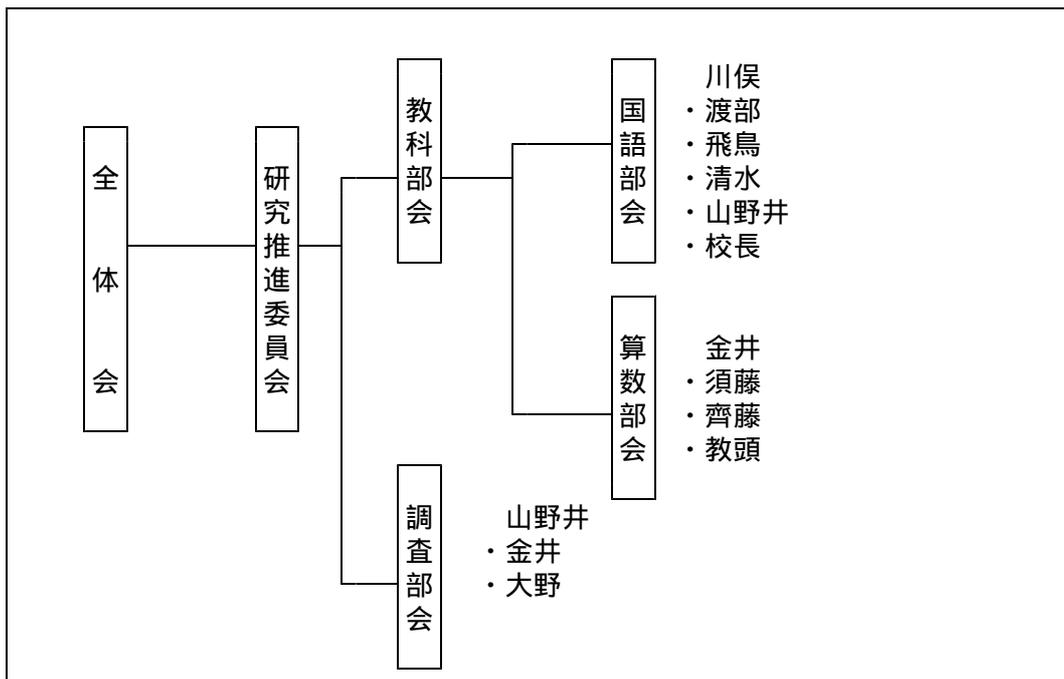
平成14年度	テーマ 基礎学力が定着し、自ら学び自ら考える児童の育成 - 国語科や算数科の指導を通して -
	研究の見通し(仮説) ・基礎・基本の確実な定着のためには、その基盤となる基礎学力が必要である。繰り返し学習等を取り入れることで、児童は基礎学力を身に付け、意欲的に学習に取り組むであろう。 ・個に応じた指導方法・指導体制の工夫改善や、指導に生きる評価の工夫により、児童一人一人に基礎・基本が定着し、自分に合った学習の仕方を見出し、問題を解決しようとする児童の育成を図ることができるであろう。 研究の内容・方法 ・繰り返し学習による基礎学力の徹底 ・個に応じた教材の開発 ・ティーム・ティーチングによる習熟度別学習の実施(算数科) ・指導に生きる評価の在り方 ・評価カルテの作成 ・評価規準の作成 ・研究授業における実践研究

平成 15 年 度	<p>テーマ 基礎・基本が定着し、自ら学び自ら考える児童の育成 - 国語科や算数科の指導を通して -</p> <p>研究の見通し ・個に応じた指導方法・指導体制の工夫改善や、指導に生きる適切な評価により、児童一人一人に基礎・基本が定着し、自ら学び自ら考える児童の育成を図ることができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 昨年度の反省をもとに、研究の内容・方法を整理統合し下記のように改めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境の整備（見えない学力の定着） <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣の確立</li> <li>言語活動の充実</li> <li>読書習慣の定着</li> </ul> </li> <li>・基礎学力の定着 <ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し学習による基礎学力の徹底</li> </ul> </li> <li>・指導方法の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の習熟度に応じた補充発展学習の在り方</li> <li>個に応じた教材の開発</li> <li>チーム・ティーチングによる習熟度別学習の実施（算数科）</li> <li>指導と評価の一体化を図る評価の在り方</li> <li>評価カルテの効果的な活用</li> <li>表現能力の育成とかかわり合いの中で学ぶ学び合い能力の育成</li> <li>思考力を深める指導法の開発</li> </ul> </li> <li>・年間指導計画の見直し</li> <li>・研究授業における実践研究</li> </ul>
--------------------	---

平成 16 年 度	<p>テーマ 基礎・基本が定着し、自ら学び自ら考える児童の育成 - 国語科や算数科の指導を通して -</p> <p>研究の見通し ・適切な評価活動を行い個に応じた学習指導を充実させ、問題解決的な学習を展開することにより、基礎・基本を効果的かつ確実に身に付け、学ぶ力を育むことができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導と評価の一体化を図った学習指導の在り方</li> <li>・チーム・ティーチングによる習熟度別学習の実施（算数科）</li> <li>・互いに学び合う「総合的な学習の時間」の充実</li> <li>・研究授業における実践研究</li> <li>・家庭や地域との連携</li> </ul>
--------------------	--

\* 平成15年度からの新規校については、平成15、16年度の計画について記入すること。

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

児童や保護者に対するアンケート調査や児童の意見発表から次のような成果が確認できた。

- ・思考力を深めるために、聞き合うことを重視する学習活動を大切にしてきたので、友達の考えをもとにして考えることが楽しいと感じる児童が増えてきた。
- ・年間指導計画に基づき、個に応じた指導（習熟度別学習）に取り組んできたことにより、学習内容が理解できるようになったと感じている児童が増えた。

（別紙参照）

Q 習熟度別学習について（対象：3～6年 H16.1実施）

ア 学習内容がよくわかるようになった	34名（33%）
イ 学習内容が少しわかるようになった	47名（47%）
ウ 変わらない	14名（14%）
エ やっぱり分らない	6名（6%）

（「ウ 変わらない」と回答した児童の内、11名が「算数が好きになった」と答えている。）

- ・ティーム・ティーチングによる習熟度別学習、発展的学習、補充的な学習及び評価に関する研究を通して児童一人一人に応じた指導が行えるようになった。
- ・学校の取組みについて学校便り等を通して継続的な啓発を行っているので保護者や地域の協力が得やすくなり理解が深くなった。（別紙参照）

#### 2. 今後の課題

- ・国語科の学びを生かして、表現力を高め、友達と自分の相互の思いや願いを学び合える児童の育成
- ・発展的な学習及び補充的な学習の指導法の研究や教材の開発、工夫・改善に取り組んでいく。
- ・評価規準、評価計画、評価カルテの効果的な活用を考えていく。
- ・互いに学び合う「総合的な学習の時間」の充実

学力等把握のための学校としての取組

- ・加減乗除における繰り返し学習の成果の把握
- ・各学年ごとの漢字についての定着の度合いの把握
- ・定期的な学力検査の実施（年1回、全学年：1月）
- ・算数科における各学年ごとの理解の度合いの把握（年1回、全学年：3月）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 安足地区を対象とした中間公開授業研究会
- ・日時 平成16年2月25日（水） 13:10～16:30
  - ・会場 田沼町立多田小学校

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

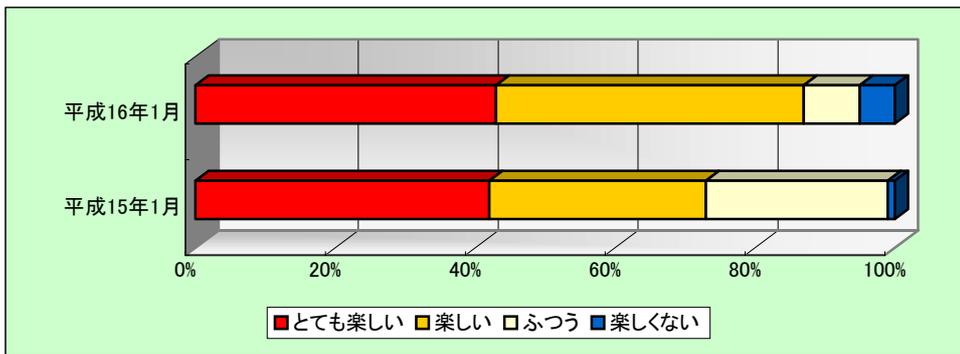
- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下                       7～12学級  
                                  13～18学級                       19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制                       その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       算数                       理科  
                                  生活                       音楽                       図画工作                       家庭  
                                  体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                       無

別紙  
アンケート結果から

Q 習熟度別学習について（昨年1月と今年1月） 平成15年度 3年～6年  
[※平成14年度 2年～5年]

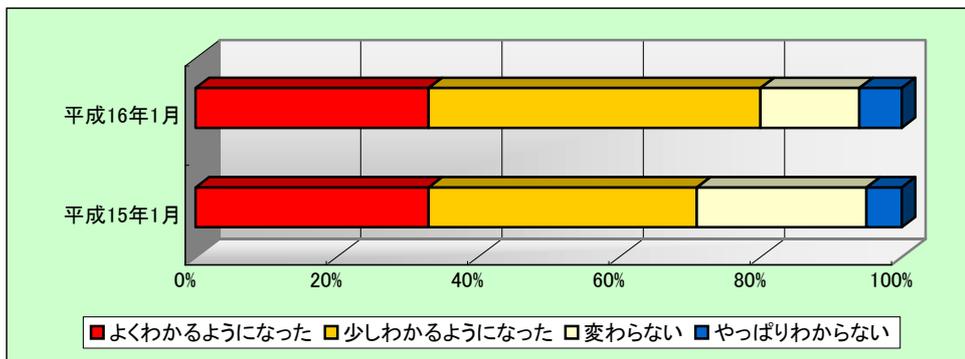
1 習熟度別学習について %

	とても楽しい	楽しい	ふつう	楽しくない
平成15年1月	42	31	26	1
平成16年1月	43	44	8	5



2 習熟度別学習を実施したことによる児童の意識の変化 %

	よくわかるようになった	少しわかるようになった	変わらない	やっぱりわからない
平成15年1月	33	38	24	5
平成16年1月	33	47	14	6



3 習熟度別学習についての保護者の意見(保護者アンケート) %

	よいことである	あまりよいことではない	不安や心配な点がある	その他
平成15年1月	80	10	7	3
平成16年1月	94	0	3	3

